

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

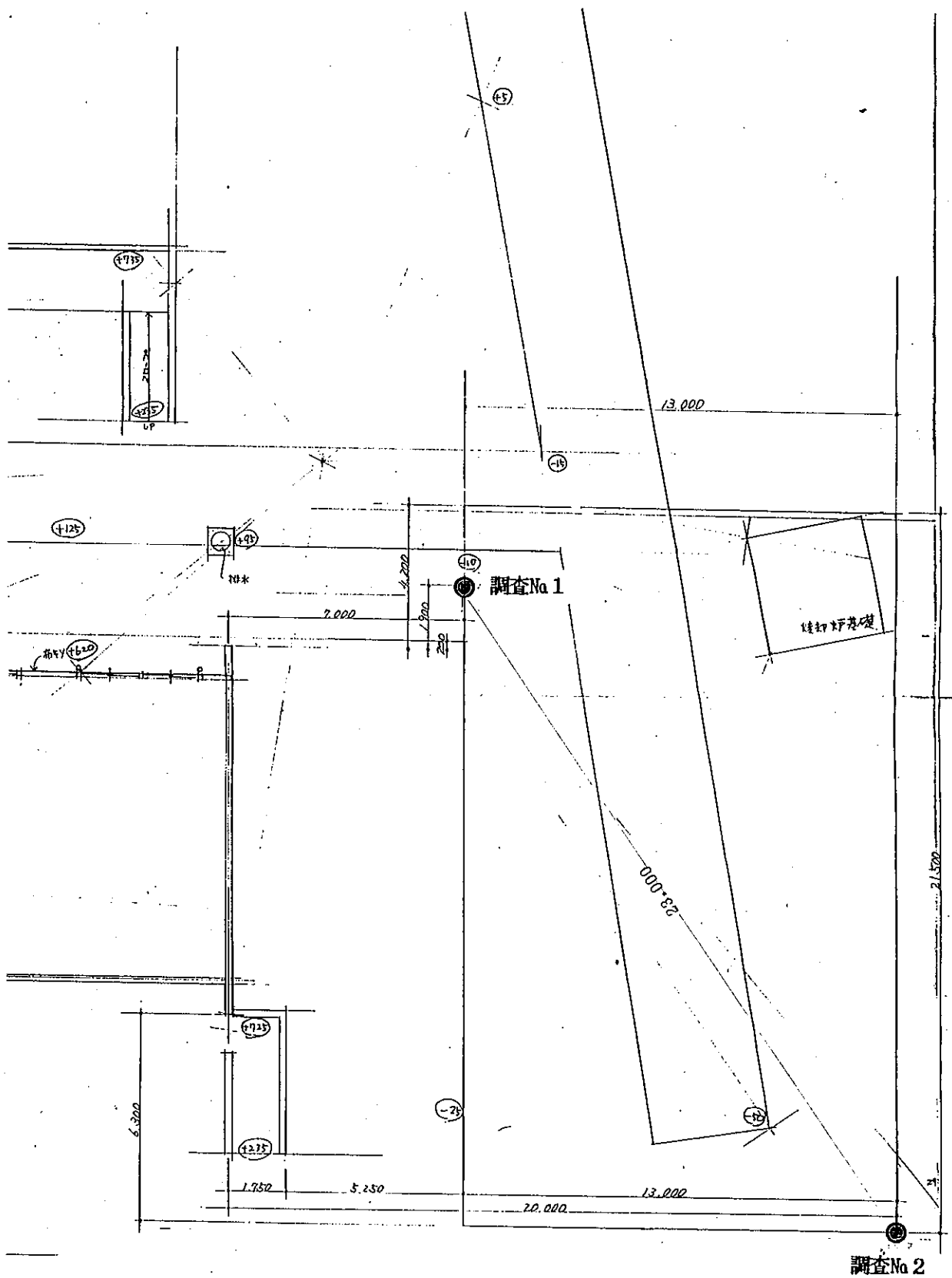
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

# 地質調査位置図

● ボーリング地点



柱状 - B A S E

第 1 図 土質柱状図

栃木県立野沢養護学校温水槽新築工事  
 地質調査

ボーリング方法 ロータリー式

調査位置 宇都宮市野沢

地点番号 No. NO.1 標高 +9.280 m 調査年月日 62年 1月26日 ~ 1月26日

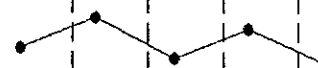
備考

KBM +10.00m

孔内水位 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回	10 cm 毎の打撃回数 c m c m
1	7.88	1.40	1.40	X		表土	黒褐色	有機質ローム、ローム片混入盛土の様層を呈す	1	1	1
2	7.38	1.90	0.50	〰〰〰		有機質ローム	黒褐色	旧表土上部暗茶褐色を呈す粘性中位程度下部砂分均一に混入する	10	10	10
3				〰〰〰					2	3	2
4	4.98	4.30	2.40	〰〰〰		ローム	茶褐色		10	10	10
	4.78	4.30	0.25	△△△		軽石	黄褐色	粒径1mm内外と細かく含水多い鹿沼軽石層	2	2	2
	4.48	4.80	0.25	△△△		粘土ローム	茶褐色	含水多粒径φ2~5mm内外、鹿沼軽石層	10	10	11
5	4.08	5.20	0.40	△△		軽石	黄褐色	含水多粘性中位程度	1	1	
6	3.63	5.65	0.45	〰〰〰		粘土ローム	茶褐色	含水多粘性中位程度、柔らかい	50	50	
7											
8											

(N 値)  
 1 0 2 0 3 0 4 0 5 0



柱状 - B A S E

第 2 図 土質柱状図

栃木県立野沢養護学校温水槽新築工事  
 事地質調査

ボーリング方法 ロータリ式

調査位置 宇都宮市野沢

地点番号 No. NO.2 標高 +9.210 m 調査年月日 62年 1月27日 ~ 1月27日

孔内水位 m 担当者名

備考

KBM +10.00 m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回数	10 cm 毎の 打撃回数
1	7.46	1.75	1.75	X		表土	黒褐色	有機質ローム主体で口一ム、鹿沼軽石少量混入し盛土の層を呈す	1.15	3	1
2	6.86	2.35	0.99	△△		有機質ローム	黒褐色	旧表土	1.47	32	11
3	6.86	2.35	0.20	△△		ローム	褐色	粘土化した今市軽石多く含まれる	2.15	5	1
4	4.61	4.60	2.05	△△		ローム	茶褐色	含水、粘性ともに中位程度、若干固結状で砂分混入する所狭む	2.47	32	10
5	3.66	5.55	0.95	△△		軽石	黄褐色	含水多く粒径φ2~4m 内外主体	3.15	3	1
6									3.48	33	10
									4.15	5	2
									4.47	32	10
									5.15	2	1
									5.55	40	20

(N 値)  
 10 20 30 40 50

栃木県立野沢養護学校配置図

